



協力してコメを運ぶ参加者

大館産米でマリ支援

市民団体、600キロを発送

食糧難の国にコメを送って支援している大館市の市民団体「食とみどり」と水を守る大館労働市民会議（石田寛議長）は14日、アフリカ・マリへ贈る「支援米」の発送式を大館市役所そばで行った。

インターアクト部の部員ら約50人が参加した。石田議長は「少しでも子どもたちが喜ぶ笑顔が見たいと思っているので、これからも頑張ろう」とあいさつ。同校インターアクト部代表の菅原悠来さん（2年）は「一生懸命田植えや収穫をしたコメなので、マリの人たちの暮らしが少しでも豊かになってくれればうれしかった。」と話した。参加者はその後、協力して30キロ入りの袋を配送業者のトラックに積み込んだ。めんこいなは昨年5月に同市大田面の田んぼで田植えを行い、10月に収穫した。支援活動は2000年度にスタート。送ったコメの累計は今回を含め26・9トになった。（間杉大旗）